

# A L P S 処理水の海洋放出に係る関連産業の 状況調査結果について（9月1日現在）

## 調査結果概要

※産業団体等からの聞き取りによる。

### (1) 既に生じている影響

#### ○中国等へ向けた輸出停止による影響

- ・中国向けに輸出した水産物が通関できず、貨物が積戻しされている。
- ・出荷先の変化によりホタテの加工方法も変化しているが（中国向けの冷凍両貝⇒玉冷）、加工設備が不足している事業者は原貝を受け入れられず、一部漁協において水揚げ制限をする事態に陥っている。
- ・冷凍保管しているホタテが中国に輸出できず、冷凍庫に余裕がない。
- ・空き倉庫への移送コスト、保管料など余剰経費が嵩んでおり、損失補償の対応方法を一日も早く示してほしい。
- ・輸出がストップしている関係で、国内向けの取扱いが多くなっている。（以上、水産物連絡協議会）
- ・輸出・販売ができず収入がない中、仕入代金や保管に係る費用がかさみ、資金面で大変厳しい状況。（食品関係団体）
- ・会員企業の中には、8月盆明け出荷の中国への商品(味噌・醤油)が入荷拒否となっている事業者もあると聞いている。（以上、食品関係団体）

#### ○中国からの迷惑電話

- ・国際電話の国番号「86(中国)」からかけられた迷惑電話の対応。（食品関係団体）

### (2) 今後懸念すること

#### ○中国の水産物輸入全面停止による影響

- ・最大の輸出先である中国が輸入停止したことで、主要な輸出品目であるホタテガイが輸出できなくなり、国内に滞留することで産地価格の下落を懸念。（水産物連絡協議会）
- ・中国が輸入禁止措置を講じたことによる水産加工関連事業者の経営への影響（商工関連団体）
- ・今後、ホタテの製品化の継続や秋サケの順調な水揚げ推移により各産地加工業者の保管能力を超過した場合、営業倉庫の早期満庫が懸念される。
- ・一刻も早く国から保管料等に対する支援がなければ、事業が立ちゆかなくなる。（以上、食品関係団体）

#### ○観光客の減少

- ・宿泊施設毎の中国人の予約数はわからないため、現時点では影響把握ができていないが、今後は宿泊施設にも影響が出てくるものと考えられる。
- ・現時点では、旅行業への影響が発生しているとは聞き及んでいない。状況次第だが今後は影響が出てくるものと思う。（以上、観光関係団体）

#### ○水産物以外への規制や風評被害、中国以外への規制の拡大

- ・輸出品目に関しては、海産物のみならず、国産の農産物に対しても風評被害が発生する懸念がある。（農業関係団体）
- ・今後の見通しは全く立っていない。問題の長期化により、輸出額の減少が懸念される。（食品関係団体）

### (3) 海外(中国)の状況(北海道上海事務所からの情報)

- ・在上海日本国総領事館によると、抗議の電話は8月28日以降増え、北京の日本国大使館には累計で万単位の抗議の電話が来ているが、9/1現在減少傾向。団体旅行のキャンセルはそれほどの数ではないと聞いており、新たな査証申請件数もこれまでと同じペースで増加している。

※道内資本の事業者に影響が出ているといった情報は、現時点で入ってきていない。